

YUZAWA PUBLIC RELATIONS  
「コネクト」  
**Connect**

広報ゆざわ 2022. **6** Vol. 350



特集

学校・家庭・地域 みんなでつくる

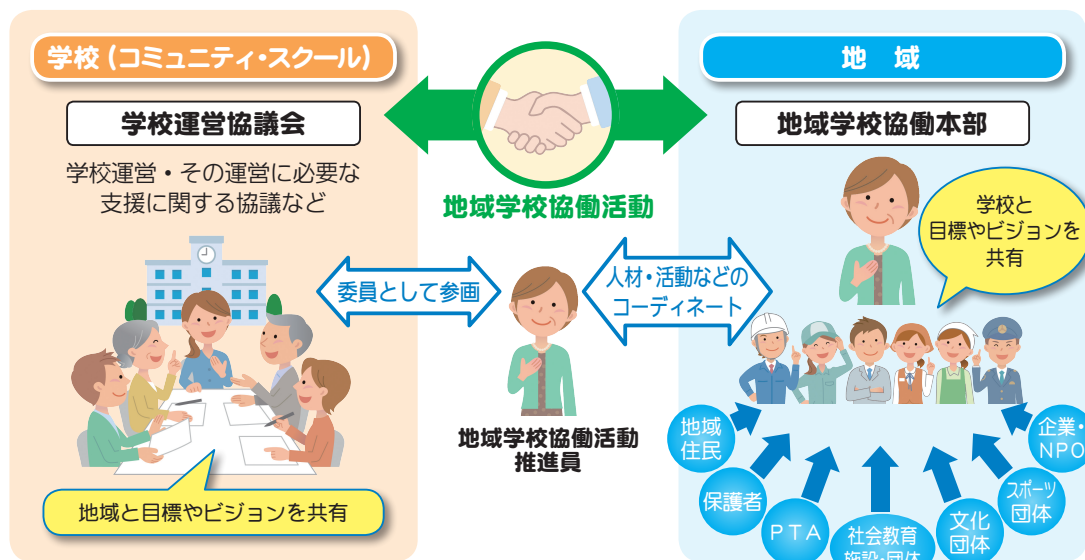
子どもたちの輝く未来!

「コミュニティ・スクール」と  
「地域学校協働活動」の一体的な推進

**市**教育委員会では、市民（地域の皆さん）と学校とが連携して子どもたちの学びをサポートしていく仕組み「**コミュニティ・スクール**」を令和2年度までに全ての学校に導入しました。また、全ての中学校区に「**地域学校協働本部**」を設置し、学校と地域で目標やビジョンを共有して「**地域とともにある学校づくり**」「**学校を核とした地域づくり**」を一体的に進めています。

# 学校・家庭・地域 みんなでつくる 子どもたちの輝く未来!

「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の一体的な推進



地域の声を生かして子どもを育む「**コミュニティ・スクール**」  
**地域とともにある学校づくり**

**私**たちの家庭や地域社会は、時代とともに変化しています。現在、核家族やひとり暮らしの世帯が増え、子どもの数も減少しています。また、近所付き合いが少なくなると人間関係が希薄となり、社会生活を送るうえでの規範意識が弱まっています。

子どもたちにとって、多くの大人と触れ合う中で、生きていく知恵や力、学ぶ意欲を見だし、心豊かでたくましく生きる力を身につけることは大切なことです。幸い、都会に比べ本市には「人と人とのつながり」という強みがあります。地域と学校の連携・協働をさらに効果的、継続的に行うために、今、学校運営協議会と地域学校協働本部の一体的な推進が求められています。

各小・中学校では、授業補助や環境整備などの地域学校協働活動で地域ボランティアの皆さんが活躍しています。希望される方は誰でも参加できますので、ぜひ近くの学校に足を運んでみてください。



学校教育課  
ふなやま いくお  
船山 育士 課長



## コミュニティ・スクールってなに？

学校運営や学校の課題に対して、広く保護者や地域の皆さんが、地域ぐるみで子どもたちを育てていこうとする仕組みで、**地域全体が学校**であるというイメージです。

- ◎子どもを育てる共通の視点を持つ
- ◎地域と学校をつなぐ方法を考える

この2つの視点を核としています。



ココが知りたい!!

# コミュニティ・スクール



コミュニティ・スクールについての  
さまざまな疑問にお答えします!



## コミュニティ・スクールは PTAとどこが違うの？

PTAは、保護者と教職員が連携して教育環境の整備を行う任意の団体で、責任や権限はありません。一方、コミュニティ・スクールは**学校運営について互いに考え、チームとして協働的な教育を創ります**。教育委員会が任命した委員での合議制の機関であり、一定の責任や権限をもっています。



## コミュニティ・スクールがあると 何が変わるの？

地域の皆さんが学校に関心を持ち、学校だけでなく地域で子どもを育てることができます。将来の地域の担い手となる子どもたちは、その**地域ならではの貴重な学びを体験**できます。学校にとっては、地域の強みを生かした教育ができ、地域は**学校の課題を一緒に考えてくれる存在**となります。



## 学校だけではできないの？



これからの社会は、正解のない予測不可能な時代に入っていきます。社会の変化が激しく、学校だけでは、子どもたちに必要な「生きる力」を育てることが難しいといわれています。**「学校でやるべきこと」「地域と学校で連携してやったほうがよいこと」「地域事業でやったほうがよいこと」**を考えられるのが**コミュニティ・スクール**なのです。



## 地域と学校が力を合わせて 子どもにどんな力をつけるの？

学校に地域を巻き込むことで、子どもたちは多くの大人と触れ合い、思いやり、コミュニケーションや社会的マナーなどを学ぶ機会が増え、**心豊かにたくましく生きる力や知恵を身に付ける**ことができます。多様な人々の力を借りて、**地域と学校が一体となったキャリア教育が進めば、持続可能な社会の創り手を育てる**ことができます。



## 湯沢市ではこれまでも 学校と地域の連携があったのでは？



今までも、学校の協力の依頼に対し地域で支援をして、よい関係ができています。これからは、さらに「依頼する・される」から「協働（**同じ目的のために違う立場の人が互いを生かして団結すること**）」という形が必要です。



## 地域住民にどう関係あるの？



近年、地域コミュニティが薄れ、つながりが弱くなってきているといわれています。地域にとって学校を核としたつながりが強くなれば、**学校との協働活動を通して「地域の活性化」**に結びつくと考えられます。



地域の子どもを地域で育てるエンジンとしての「コミュニティ・スクール」



湯沢西小学校  
まとう よしかず  
佐藤 芳一 校長

「コミュニティ・スクールは、地域の子どもを地域で育てるエンジンだと、私自身はやや荒っぽく認識しています。本校は、昨年4月に湯沢西小、二関小、須川小が統合し、学校運営協議会の委員も3校の地域代表で構成されました。委員のかたがたは、「協議だけではない、活動が見える実働部隊」という意識で参加して下さっています。学校でも、学校の課題の共通理解と、その解決に向けて歩みを共にして下さる組織として期待があります。」

昨年度は、コロナ禍で中断していたPTA行事の改革案、地域の危険箇所情報の収集、スキー授業に関わる保護者負担の軽減策について、具体的な協議がなされました。PTA行事は、早くも「ウォーキング&クリーンアップ」と銘打った地域貢献行事として実現し、その他も今年度の具現化に向けて具体的な協議を進めています。

学校にとって地域力を学校に生かすエンジンとして、学校運営協議会との連携を図っていきたく思っています。



学校運営協議会

学校運営協議会の主な議題

- ◇ 校長の基本方針の承認
- ◇ 学校運営の基本方針
- ◇ 小中連携活動と地域連携行事の合同での取組み
- ◇ 地域の児童生徒の安全・安心を守る取組み
- ◇ 地域全体であいさつのできる子どもを育てる
- ◇ 児童生徒の地域奉仕活動
- ◇ 地域行事への児童生徒の参加
- ◇ 地域ボランティアを考える

学校を核とした地域づくり

地域総ぐるみで未来を担う子どもたちの成長を見守る

「地域学校協働活動」



さくらんぼ農家さんをゲストティーチャーに迎えて



生涯学習課  
たかはし ひであき  
高橋 秀明 課長

教 育委員会では、地域学校協働活動推進員を8人委嘱し、6中学校区ごとに設置している地域学校協働本部に配置しています。地域学校協働活動推進員は、学校運営協議会で決まった地域学校協働活動などに学校、PTA（保護者）と協働して取り組む地域ボランティアの募集や、地域（地域ボランティアや各種団体など）と学校をつなぐコーディネーターとして日々活動しています。

地域学校協働活動に参加する地域ボランティアや、地域の活動に参加する子どもたちが増加することにより、子ども、学校、地域それぞれへのさまざまな効果を期待しています。このことは「地域の活性化」や「地域住民の生きがいづくり」にもつながりますので、皆さんの地域学校協働活動への参加と協力をぜひお願いします。

子どもたち	学校	地域
<ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 社会貢献意識</li> <li>▷ 地域への愛着</li> <li>▷ コミュニケーション能力や学力の向上 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 教職員が児童生徒と向き合う時間の増加</li> <li>▷ 教職員の地域社会への理解の促進 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 学校運営に対する理解</li> <li>▷ 地域の教育力の向上</li> <li>▷ 活動を通じた地域の課題解決 など</li> </ul>

地域学校協働活動によって期待される効果

地域学校協働活動推進員として望まれる方

- ◇ 地域学校協働活動に熱意と識見がある。
- ◇ 地域学校協働活動に深い関心と理解がある。
- ◇ 地域の住民、団体、機関の関係者をよく理解している。
- ◇ 学校の実情や教育方針への理解がある。
- ◇ 活動を円滑に進めるためのコミュニケーション能力があり、人を動かす力がある。
- ◇ 課題についての問題提起、整理、解決策の検討などを仲間とともに進めることができるファシリテート能力がある。

地域学校協働活動推進員は、地域と学校との連絡調整、情報の共有、地域学校協働活動の企画調整と運営、そして地域の皆さんへの学校との協働活動の呼びかけなど、地域とも学校とも良好な関係をつくり、信頼関係を築きながら活動を進めるコーディネーターです。

左記のような人材を校長の推薦により、教育委員会が委嘱しています。

地域と学校をつなぐ「コーディネーター」  
「地域学校協働活動推進員」



伝統芸能（三関地区ささら舞）の継承をお手伝い



地域学校協働活動推進員の皆さん

INTERVIEW

湯沢南地区学校協働本部で地域学校協働活動推進員として活動している小松裕美子さんと高橋恵さんにお話を伺いました



湯沢南地区学校協働本部  
地域学校協働活動推進員  
小松 裕美子 さん

— 地域学校協働活動推進員としての目標は？

未来を担う子どもたちや学校、地域全体を元気にすることです。そのために私たちが学校と地域をつなぐパイプ役となり、子どもたちが頑張っている姿を学校や地域のいろいろな場所で見てもらえるようにしたいです。「子どもは地域の宝ですから！」

— 学校運営協議会に参加して感じたことは？

私たちの時代より教科が増え、教わる子どもたちも、教える先生方も大変そうに感じます。協議会では、学校運営に生かせるさまざまな意見やアイデアが出ています。それらの実現に向けて学校・PTA・地域と一緒に楽しく取り組めるように頑張りたいと思います。

— 学校と地域をつなぐコーディネーターの役割で大変なことは？

地域の皆さんの知識や経験などの情報収集です。少しでも多くの人材と学校をつなぐために地域の皆さんと出会う機会を探しています。まずは皆さんに学校に

来てもらうようにしたいのですが難しいです。

— 学校や地域が協働活動でよくなったことは？

子どもの学びは学校、しつけは家庭、見守りは地域が主に担うことです。地域の皆さんの見守りにより、学校は学びに集中でき、子どもたちは安全・安心に学校生活を送ることができています。地域の皆さんは子どもたちからたくさん元気をもたらすことができていると感じます。

— 地域の皆さんへひとこと！

地域の皆さんの理解と協力がなければこの活動はできません。子どもたちや学校、地域全てが元気になるように楽しく活動していますので、子どもたちの未来と地域のために皆さんの力を貸してください。

皆さんが感じているほど学校の敷居は高くありません。ぜひ活動の見学や一日体験に来てください。そして、子どもたちの声が響き渡っている場所で、私と一緒に活動しましょう。



湯沢南地区学校協働本部  
地域学校協働活動推進員  
高橋 恵 さん



地域住民と地元企業による登校の見守り

学校と相互にパートナーとして連携・協働してさまざまな活動を行う「地域ボランティア」。稲川地域では地域住民のほか川運運送株式会社の皆さんが交替で登校の見守りを行うなど、地域学校協働活動が企業にも広がりをみせています。

地域の皆さんの参画によって、地域全体で子どもたちの学びや成長を支え、「学校を核とした地域づくり」を目指した活動が行われています。

INTERVIEW 湯沢南地区学校協働本部で地域ボランティアとして活動している沖田文子さんにお話を伺いました



地域ボランティア  
おきた 文子 さん

— 地域ボランティア登録をしたきっかけは？  
学校で地域ボランティアの皆さんに声を掛けてもらったことです。子どもが学校を卒業しても、活動に参加しています。

— どのような活動をしていますか？  
絵本の「読み聞かせ」、校内の飾り制作、しんこ細工作りのサポートなどさまざまな活動をしています。

— ボランティア活動で楽しんでいることは？  
子どもたちや先生方と一緒に活動で反応を直接見られることです。子どもや先生、仲間の笑い声や笑顔から毎回元気をもらっています。

— ボランティア活動で大変なことは？  
大変と感じたことはないです。子どもたちに気を遣うことなどありますが、子どもたちから得るものや学ぶことの方がたくさんあります。

— 地域の皆さんへひとこと！  
ボランティア活動に興味をもっている方はたくさんいると思います。いざ参加となると「自分も楽しく活動できるのか？」などと少し不安になると思います。まずは一度体験することがお勧めです。私もそこから始めて、いまだにはまっています。

- 主なボランティア活動(無償)
- ◇ 登校の見守り
  - ◇ 読み聞かせ、図書貸し出し
  - ◇ 部活動の補助
  - ◇ 給食準備指導支援
  - ◇ 家庭科実習・図工の手伝い (ミシン、調理、のこぎり作業など)
  - ◇ 低学年のまち探検の同行
  - ◇ スキーや跳び箱の手伝い
  - ◇ 学校行事の準備・運営(学習発表会の道具制作など)
  - ◇ 環境整備(玄関飾り付けなど)



学習発表会の道具作り



まち探検の引率

地域学校協働本部では、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支える「地域ボランティア」を募集しています。

できる人が できるときに できることから

未来を担う子どもたちのために何ができるか 一緒に考え取り組みませんか♪



◀湯沢市のコミュニティ・スクールや地域学校協働本部について、詳しくはホームページをご覧ください。地域ボランティアの登録方法も掲載しています。

問合せ

学校教育課指導班 ☎ 73-2162  
生涯学習課社会教育班 ☎ 73-2163